

上尾市立平方東小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

よく学び 心豊かでたくましく生きる児童の育成

- よく考え進んで学ぶ子<知>
- 明るくなかよく助け合う子<徳>
- たくましくがんばりとおす子<体>

学校課題研究主題

発達段階に応じた「知る」「深める」
「内省する」9年間の道徳教育
～きまりの意義を理解し、自らを律することのできる児童・生徒の育成を目指して～

学力・学習状況調査の結果

R8 全国学力・学習状況調査	R8 埼玉県学力・学習状況調査	R7 上尾市立小・中学校学力調査
・国語、算数、ともに平均正答率は全国平均と同等である。 ・国語は、複数の情報を組み合わせたり、整理したりして説明する問題を苦手としている。 ・算数は条件に合わせて適切なグラフや項目を選ぶ問題、数直線上の大きさを分数で表す問題、増減を割合で表す問題を苦手としている。	・学力レベルの平均は、4、5年が、国語も算数も県平均と同等程度だが、6年は、下回っている。 ・国語、算数ともに、学力を伸ばした児童の割合は、埼玉県の平均を下回っている。 ・非認知能力の作業方略の数値が県の平均と比較して低い。認知的方略や努力調整方略は昨年度より数値が上がっている。	・国語は、文章を読み解く問題や書くことについての正答率が低い。また、文章記述で答える問題で回答を書けない児童も数名いる。 ・算数は、変化と関係において、得意・不得意の二極化に分かれ、知識・技能を問う短答問題や記述問題を苦手とする学年がある。高学年になると、題意を読み取ることが苦手な児童が増える。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な知識を確実に身に付ける力。 ②既習の知識をもとにして、新たな知識を習得する力。	③話の内容を的確に読み取る力。 ④情報を取捨選択したり、比べたりする力。 ⑤理由や根拠を付けて自分の考えを書いたり、発表したりする力。	⑥学習に粘り強く取り組み、自分の考えを出そうとする力。 ⑦学習した内容を実生活に結び付けて、考えようとする力。 ⑧学習の見通しを立てたり、振り返ったりする力。

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
・国語では、言葉の特徴や使い方を正しく理解できるように、授業の始めや終わりに、漢字や言葉の意味を、辞書等を使って確認させる。また、原因と結果など、情報と情報との関係について理解するための時間を設定する。 ・算数では、図形について正しく理解できるように、ICT端末で視覚的に理解させる。	・国語では、話の内容を理解させるために、話を読んで要約をする活動を多く取り入れる。そして、自分の考えを、理由を付けて書いたり、発表したりする時間を設定する。 ・算数では、変化と関係についてより理解を深められるように、自分の言葉でノートに書かせたり、言葉で発表させたりする時間を取る。	・国語では、言葉の特徴や使い方を学ぶ態度を育てるために、分からない言葉を辞書で調べる機会を設定する。 ・算数では、振り返りにおいて、学習したことやそれを日常生活に生かすことができるように、振り返りを書かせる。

本校の特色ある取組

- ①道徳教育の充実
- ②多様性に応じた個別最適な学び
- ③生活科・総合的な学習の時間における体験的活動・協働的な学びの充実
- ④縦割り班活動「にこにこタイム」の推進
- ⑤ICT機器の活用（学校・家庭）
- ⑥ALT・英語専科教員を活用した英語教育の充実

家庭教育との連携

- 家庭学習、家庭読書の習慣化「がんばろう家庭学習」
- デジタル教材、ICT端末の活用「e-board」「e ライブラリ」活用推進

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（低学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な知識を確実に身に付ける力。 ②既習の知識をもとにして、新たな知識を習得する力。	③話の内容を的確に読み取る力。 ④情報を取捨選択したり、比べたりする力。 ⑤理由や根拠を付けて自分の考えを書いたり、発表したりする力。	⑥学習に粘り強く取り組み、自分の考えを出そうとする力。 ⑦学習した内容を実生活に結び付けて、考えようとする力。 ⑧学習の見通しを立てたり、振り返ったりする力。



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、③	①助詞、長音、拗音等の正しい使い方を繰り返し身に付ける時間を確保する取組。 ③短い文を読んだり、思ったことを話したり、聞いたり、書いたりする取組。	
算数	①、②、⑥	①繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算の練習を取り入れる取組。 ②既習事項を生かして、新しい学習を理解できるよう学習展開を工夫する取組。 ⑥図形の問題にて、全員が自分の考えをもてる 4r5 ように工夫する取組。	
生活	④、⑧	④自分と地域との関わりを深めることを通して情報を取り入れ、社会や自然と関わる取組。 ⑧体験活動の中で、何をしたいのか考え、活動に見通しをもったり、振り返りをしたりする時間を取り入れる取組。	
音楽	①	①歌や音楽づくりを取り入れて、歌ったりリズム打ちをしたりして、音や音楽と豊かに関わり、音楽表現を楽しむ取組。	
図画工作	⑤	⑤自分の作品や身近な作品を楽しんで見る中で、感じたことを話したり、色や形、表し方のおもしろさを話し合ったりする取組。	
体育	⑤	⑤各運動遊びについての自己の動きの楽しさを見つけ、他者に伝える取組。	
英語活動	⑥	⑦学習にねばり強く取り組もうとする態度を養うために、身の回りの物事（色や文房具、あいさつなど）の言い方を繰り返し練習する取組。	
特別の教科 道徳	⑧	⑧自分のやるべきことをやり遂げるために、見通しを立てたり、学校生活を振り返ったりする取組。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（中学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な知識を確実に身に付ける力。 ②既習の知識をもとにして、新たな知識を習得する力。	③話の内容を的確に読み取る力。 ④情報を取捨選択したり、比べたりする力。 ⑤理由や根拠を付けて自分の考えを書いたり、発表したりする力。	⑥学習に粘り強く取り組み、自分の考えを出そうとする力。 ⑦学習した内容を実生活に結び付けて、考えようとする力。 ⑧学習の見通しを立てたり、振り返ったりする力。



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	③ ⑤	③音読をしたり、段落ごとに話の内容を要約したりして、内容を理解する取組。 ⑤自分の考えの理由となる重要な文や言葉を抜き取る取組。	
社会	④、⑤	④地図帳などの資料から読み取ったことを比べたり、取捨選択したりする取組。 ⑤調べたことをまとめた新聞を主体的に発表する取組。	
算数	①、⑥	①繰り返しドリルやプリントを活用して、わり算の計算問題を解く取組。 ⑥図形の問題にて、既習事項から想起させ、自分の考えを粘り強く考える取組。	
理科	②、⑤	②既習をもとに、新たな実験の予想を立てさせてから実験する取組。 ⑤観察カードに、観察結果に加え、自分の考えも記入する取組。	
音楽	①	①器楽で取り組む曲では、階名唱を用いて楽曲の旋律やリズム・パターンを把握できるようにする取組。	
図画工作	⑧	⑧活動の前に作品制作の見通しをもたせる取組や、活動の合間に振り返りをさせることで、次に表したいことを整理する取組。	
体育	⑤	⑤各種の運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える取組。	
外国語活動	①	①簡単な語句や基本的な表現を身に付けさせ、ペアでの会話の後いろいろな人とコミュニケーションを取る取組。	
特別の教科 道徳	⑦	⑦自分を支え励ましてくれる人々に感謝の気持ちを持ち、みんなで協力し合って活動する取組。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（高学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な知識を確実に身に付ける力。 ②既習の知識をもとにして、新たな知識を習得する力。	③話の内容を的確に読み取る力。 ④情報を取捨選択したり、比べたりする力。 ⑤理由や根拠を付けて自分の考えを書いたり、発表したりする力。	⑥学習に粘り強く取り組み、自分の考えを出そうとする力。 ⑦学習した内容を実生活に結び付けて、考えようとする力。 ⑧学習の見通しを立てたり、振り返ったりする力。



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	③、⑤	③文のまとまりを意識して、筆者の言いたいことを段落ごとにまとめ、文を要約する取組。また、それに対する自分の考えを書かせる取組 ⑤読書をすすめ、感想や紹介文などを書く取組。	
社会	④	④資料集や地図帳を積極的に活用し、複数の資料から読み取る取組。	
算数	①、⑥	①ドリルやプリントを繰り返し活用し、小数の加減乗除の確実な習熟（位取りに注意する）を図る取組。 ⑥図形の問題を既習事項から想起させ、最後まで諦めずに粘り強く自分の答えを表現する取組。	
理科	②、⑧	②既習の学習事項や前の実験結果をもとに、新しい仮説を立てて実験に取り組み、新しい知識を得たり、理解を深めたりする取組。 ⑧実験の予想を立てたり、実験の計画から見通しをさせたりし、実験の結果から考察や結論を導き出し、振り返りをする取組。	
音楽	①	①毎回の授業で、今まで学習してきた音符やリズム記号、階名を使って読む取組。	
図画工作	⑤	⑤作品を鑑賞し、自分の考えや思いを色や形からどう表現したかを伝えたり、よさや感じたことを友達と話し合ったりする取組。	
家庭	⑦	⑦調理に必要な器具や食器の安全で衛生的な取扱いと1食分の献立を自分で考え、家庭でも実践する取組。	
体育	⑤	⑤本時の振り返りのときに、自分で気付いた運動のこつを友達に伝えたり、友達の動きのよさを発表し合ったり、健康に過ごすための方法を発表したりする取組。	
外国語科	①	①A L Tが実際に用いる表現を聞いたり真似したりして、やり取りの中で使う取組。	
特別の教科 道徳	⑦	⑦最後までやり抜く粘り強さを身に付けるために、自分のよさや課題を客観的に分析して、改善点を探す取組。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組

○小中一貫教育 (太平中学校区)	・いじめ防止、いじめ根絶のための取組「なかよしの木」 ・規律ある態度の育成を目指す「道徳教育」の実践 ・教職員資質向上に向けた「3校授業公開と合同研修会」 ・「地域学校保健委員会」による子供たちの健康保持 ・太平中学校進学のための情報交換、授業参観
○幼保小連携	・近隣幼稚園、保育園との情報交換、授業参観 ・小学校入学前の学校体験（1年生「生活科」による交流）
○体験活動の充実	・縦割り班での「にこにこタイム」における異学年交流 ・生活科、たちばなタイム（総合的な学習の時間）における校内外での多様な体験やゲストティーチャーによる学習の充実 ・「ロング昼休み」の自由遊びの推奨
○多様な児童の支援・居場所作り	・ICT端末を活用した個別最適な学びの充実 ・SSR（スペシャルサポートルーム）「たちばなルーム」の活用 ・SRT（サポートルームティーチャー）やASS（アッピースマイルサポーター）による学習支援
○英語教育の充実	・担任及び英語専科とALTによる英語授業の充実（全学年） ・小中一貫教育による中学校英語教員の学習支援（6年） ・休み時間のALTとの英語活動「英語で遊ぼう」 ・朝の会、帰りの会、校内放送での英語の活用
○読書活動の取組	・朝読書、読み聞かせによる読書の習慣化 ・魅力ある学校図書館づくり ・上尾市図書館平方分館との連携

家庭教育との連携

○家庭学習の充実と習慣化	・家庭学習の時間を「学年×10+α」とした習慣化 ・「算数プリント」の常設による自主学習の推奨 ・計算、漢字の繰り返しドリルの活用 ・デジタル教材「eライブラリ」の活用 ・家庭科（調理、裁縫、掃除等）や生活科（お手伝い等）による家庭との連携
○教育活動の公開	・教育活動の保護者公開の実施 ・希望保護者への随時授業参観の実施
○学習支援ボランティア	・家庭科、書写、生活科等における支援による安全面の強化及び学習活動の充実